

事務事業マネジメントシート(平成31年度実績と令和 2年度計画)

令和 2年12月23日更新

事務事業名	児童手当(平成24年度改正)支給事業					<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	2	福祉の健康			所属部	健康福祉部	課長名	坂井 竹志
	施策	4	子育て支援の充実			所属課	子育て支援課	担当者名	山田 襟香
	施策の柱	15	子育ての経済的負担の軽減			所属班	子ども家庭班	(内線)	1186
予算科目	会計一般	款 3	項 2	目 2	事業連番 11496	根拠法令	児童手当法		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 31年度で終了 <input type="checkbox"/> 31年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(PLAN)

【事業の内容】	平成22年度に創設された「子ども手当」は、国の新規事業で、それまでの「児童手当」に代わる手当として創設。子どもを養育している者に「子ども手当」を支給することにより、子育て世帯の経済的負担を軽減し、次代の社会を担う子どもの成長及び発達に資することを目的としていた。0歳から中学3年までの子どもを対象として、1人あたり月額13,000円を支給していたが、平成23年4月から9月までは「つなぎ法」として金額もそのまま継続。平成23年10月に制度改正が行われ、3歳未満の子ども1人あたり月額15,000円、3歳から小学校修了前までの第1・2子は10,000円、第3子以降は15,000円、中学生には10,000円が支給されることになった。また、支給対象子どもの国内居住要件や施設入所中の子どもへの支給が施設に行なわれることになった。(公務員は所属庁からの支給。)さらに、平成24年4月には名称変更が行われ、「児童手当」として制度が成立し、平成24年6月から所得制限が導入された。
【業務の流れ】	①認定請求・額改定請求・受給権の消滅 ②支給要件審査 ③認定通知書・消滅通知書等の発送 ④6・10・2月の定期支払月に前月までの4か月分を支給する。 ⑤現況届(毎年6月)
【主な予算費目】	職員手当(時間外勤務手当)、賃金、役務費、扶助費
【意見や要望】	なし。

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 31年度実績(31年度に行った主な活動)(DO)	受給資格者に対し、年3回の定期支払を行った。(6月期・10月期・2月期) 6月に現況届を受け付けた。(5,477件)	2年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 前年度と同様。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 人 ア:受給者数 イ:対象子ども数	予算の主な増減の理由 対象児童は増加しているが、特例給付受給者の増に伴う扶助費の減
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 合志市内に住所があり、中学校修了までの児童を養育している者(公務員を除く)。	(単位) 人 ア:対象となる延児童数 イ:	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 子育て家庭の経済的負担の軽減が図れる。	(単位) % ア:受給世帯の割合 イ:	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
*③成果指標設定の理由と2年度目標値設定の根拠 対象者に対する支給事務が適切に行われるかを図ることができる。		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	29年度実績(決算)	30年度実績(決算)	31年度目標(当初予算)	31年度実績(決算)	2年度目標(当初予算)	3年度予定	4年度見込	5年度見込		
①活動指標	ア	人	5,646	5,694	5,950	5,725	6,080	6,080	6,080	6,080		
	イ	人	10,142	10,283	13,000	10,394	13,150	13,300	13,450	13,600		
②対象指標	ア	人	118,518	120,196	119,000	122,100	125,000	127,500	130,000	132,500		
	イ											
③成果指標	ア	%	100	100	100	100	100	100	100	100		
	イ											
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円	930,882	933,309	970,288	936,712	944,736	980,029	989,829	999,727	
		都道府県支出金	千円	198,552	200,070	207,919	202,326	205,692	210,006	212,106	214,227	
		地方債	千円									
		その他	千円									
		繰入金	千円									
	一般財源	一般財源	千円	201,427	203,241	210,811	205,128	208,729	213,080	215,200	217,342	
		(A)事業費計	千円	1,330,861	1,336,620	1,389,018	1,344,166	1,359,157	1,403,115	1,417,135	1,431,296	
		(A)のうち指定経費	千円	1,328,270	1,334,028	1,386,197	1,341,490	1,356,173	1,400,042	1,414,042	1,428,182	
		(A)のうち時間外、特勤	千円	40	18	70	5	53	79	79	79	
		人件費	人	3	4	4	3	4	4	4	4	
延べ業務時間	時間	1,280	2,230	1,000	1,189	1,000	1,000	10,000	10,000			
(B)人件費計	千円	5,063	8,790	3,984	4,712	3,984	3,984	39,840	39,840			
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,335,924	1,345,410	1,393,002	1,348,878	1,363,141	1,407,099	1,456,975	1,471,136			

事務事業名	児童手当（平成24年度改正）支給事業	所属部	健康福祉部	所属課	子育て支援課
-------	--------------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部（CHECK）

*原則は31年度の事後評価、ただし複数年度事業は31年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①31年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②2年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 適正に支給が来ている	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 国の制度であるため。	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 国の制度なので適正である。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 国の制度であるため。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 すでに最低限の職員と臨時職員で対応している。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 児童手当法に基づき、適正に行っている。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 国の制度であり、特定個人情報であるため移行はできない。

3 評価結果の総括（CHECK）

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

<p>(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（公平性改善） <input checked="" type="checkbox"/>現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要）</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>																						